

呉工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	建築概論	
科目基礎情報							
科目番号	0059			科目区分	専門 / 選択必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	なし						
担当教員	篠部 裕						
到達目標							
1.建築に求められる様々なニーズを身近な生活を例に説明できる。 2.建築に関する様々な専門知識や技術の所在を身近な生活を例に説明できる。 3.建築をテーマとする基礎的な演習課題を通じて、自学・自習を行える学習習慣を身に付ける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
建築と身近な生活や社会との関係	建築と身近な生活や社会との関係を適切に説明できる		建築と身近な生活や社会との関係を説明できる		建築と身近な生活や社会との関係を説明できない		
建築に関する専門知識や技術の基礎	建築に関する専門知識や技術の基礎を適切に説明できる		建築に関する専門知識や技術の基礎を説明できる		建築に関する専門知識や技術の基礎を説明できない		
建築をテーマとする基礎演習	建築をテーマとする基礎演習を適切に実施できる		建築をテーマとする基礎演習を実施できる		建築をテーマとする基礎演習を実施できない		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HC)							
教育方法等							
概要	建築とは何か、建築学の全体像を概観することを主たる目的とする。建築学は他の工学と比較して幅広い専門分野の上に構築される学問である。建築をに関連する様々な専門分野の存在、建築を多面的な視点で捉えることの意味、建築と生活そして社会との関わりなど、建築を学ぶ上での基礎知識を習得することを目的としている。						
授業の進め方・方法	授業メモを中心に、建築に関する基礎的な演習課題を実施する。						
注意点	「好きこそものの上手なれ」という言葉があるように、建築を学ぶ上でまず大切なことは「建築を好きになる」ことです。普段から図書館に足を運び、建築関係の最新の雑誌をみる習慣を身につけ、自分好みの建築の一つでも多く見つけてください。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	建築とは、建築の学び方、建築の専門領域		建築と建築の専門領域の概要を説明できる。		
		2週	建築学科のカリキュラム		建築学科のカリキュラムの概要を説明できる。		
		3週	建築と生産：住宅ができるまで		住宅の建設プロセスの概要を説明できる。		
		4週	建築の成り立ち		日本の建築の歴史の概要を説明できる。		
		5週	建築と環境		建築と風土の関係性について説明できる。		
		6週	建築と環境、建築概論学習かるた		建築の基礎知識の要点を理解し、イラストと短文により説明できる。		
		7週	中間試験		中間試験までの学習内容を理解している。		
		8週	答案返却・解答解説、建築と環境		伝統的な民家の工夫を説明できる。		
	2ndQ	9週	建築と都市		個々の建築が歴史を積み重ね集落や都市として形成されることを説明できる。		
		10週	建築の美しさ		比例、シンメトリー・コントラストなどの美的原理の基礎を説明できる。		
		11週	建築の構造		建築の代表的な構造の種類とその基礎的な特徴を説明できる。		
		12週	建築の安全性		建築の安全が求められる背景を日常的な災害を例に説明できる。		
		13週	持続可能な生活と都市		日常生活レベルにおける持続可能な生活と都市のあり方を説明できる。		
		14週	建築概論学習かるた		建築の基礎知識の要点を理解し、イラストと短文により説明できる。		
		15週	前期末試験		前期末までの学習内容を理解している。		
		16週	答案返却・解答説明				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	環境・設備	風土と建築について説明できる。		3	前6
				ヒートアイランドの現象について説明できる。		3	前13
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	5	25	0	100
基礎的能力	70	0	0	5	25	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0